るなどの回復措置によ

平成2年頃から生

環境省の

その後8年にわたりメ

く減退しています。

スジカの捕獲を禁止す

ゆる駆除のことで、

カミ

以下オオカミと

個体調整とは、

行政が計画的、あるい

ンターが行う狩猟と、

は被害が多いとき特別

重なっていますが、 にはさまざまな要因が

(ここでは個体数

られています。

から個体数半減を目標

これを受け、

平成25年

に個体調整の強化が図

編集責任者

tel:0595-63-1725 Email jyun.y@asint.jp 名張鳥獣害問題連絡会

発行部数

錦生地区:100部 赤目地区:150部

箕曲地区: 70部 ひなち地区:60部 つつじが丘:430部

国津地区:380部

市民センター:90部

名張市議会∶20部

名張市役所:20部

【全戸回覧】

【全戸配布】

(9地区)

準

山村

オオカミ絶滅100年 乱獲によって地 域的絶滅が危惧 シカと表記)は、

明治にかけてニ ホンジカ 江戸時代から かれます。

以下 調整も含みます)に分 個体数調整』と

優先では生態系は保全 く心にとどめなければ 護』を考えるとき根深 できません。生態系で ならないと思います。 ているという現実を強 う大義名文があるにせ よ、多くの一命』を奪っ じられてなりません。 い人間社会の矛盾が感 だがその反面、保護 **興存』とい** す。

激減し、

分布域が大き

されるまでに個体数が

という見方も出来ます。 管理は野生動物の保護 点から、天敵不在の現 繋がり絶滅の恐れもあ れていて、そのバラン ほ乳類が、 ニホンオオ 以来最初に絶滅させた 在、人間による個体数 スが崩れると大量死に 天敵の数や餌の量など の野生動物の適正数は、 により コントロールさ 私たち日本人が有史 このような観 贈り物」として有意義 ところなく 山からの 骨、毛皮など全て余す かったようです。 砲はあまり使っていな の時代でした。当時は 害鳥獣捕獲活動が盛ん 林業の自衛のための有 箱罠を使用していて鉄 手作りの、 で、狩猟人口もピーク 捕獲された獲物は肉、 くくり罠や

したと言います。 総額は年間00億円に達

来山にはない食べ物の 味を教えることに繋が 野生動物にとって本

狩猟人口の減少や高齢 抑えられてきましたが の頭数を調整し増加が が絶滅後「世紀もの間、 化に歯止めが掛からな 人間の狩猟が野生動物 ています。 の絶滅は大きく影響

は人間に委ねられ、人 た。オオカミ絶滅以降 頂点に君臨していまし 一世紀、生態系の管理 の責任となっていま 望まれています。

30年代頃までは、農・ 中山間地域では昭 動物は人を恐れ奥山 潜んでいたのです。

ー 年には7.倍に拡大して

調査によると分布域も

昭和53年に比べ平成15

体数は環境省によると

平成23年度の推定個

は88 万頭と激増。被害シカは61 万頭イノシシ

ります。

狩猟者の減少が進み、 狩猟者の高齢化が進 に利用していました。 その確保が課題となっ 若年層の参入も少なく 狩猟者養成を

い現在では増える一方。 オオカミが食物連鎖の の自然の中では人間と 長い歴史の中で日本 間を減らすなど、最新 査にドローンを活用し といわれています。 情報機器の導入を待ち ることで、見回りの手 罠にセンサーを設置す たり、山中に設置した しくなってきています。 害獣の監視や生態調 狩猟者が減少し有害

農山村では木材の伐採、 りませんでした。 狩猟などで年間を通じ たことです。かっての とに山に人影がなくなっ ふれ途絶えることはあ て、山では人の声があ 新炭作り、 そのころでは、 近年、特に感じるこ 山菜採りや

伐採・人工林化も原因 人間が安易にゴミを捨 んが、直接的な原因は のひとつかもしれませ 野生動物がいるのか?」 温暖化や奥山の森林 何故いま集落周辺

考えます。

という議論の対立が続 いているのが現状。 という議論と、 提唱者の気持ちもわ

押しする施策が必要 ば て います。

てしまっています。

の生活様式の変化など 地域によって様々です たちに課せられた最大 が、里山の環境や人間 た背景に何があるのか。 里に出没するようになっ の課題です。野生獣が すかが問題で、 これをどうして山に帰 今、 私

獣害対策に取り組むこ 第一歩ではなかろうか を集落全体で話し合い とが、この課題解決 共通認識を持って、

オオカミ再導入論が起 狩猟者の減少に伴い に頂点の捕食者が必要」

プ場や集落周辺に野生 習し、結果的にキャン があるということを学 野生動物はそこに行け 動物を誘引し居着かせ は棄てがたいもので、 しい食べ物のある環境 美味しい食べ物」 安全 で美味

集落周辺で生息

者ばかりです。 する野生動物の殆どが 山での生活を知らない

鍵となります。

られたN よると、 による人的 年度のクマ Kの集計 先 日 報

今

昨年度比2

5人に及び

被害は12

5 倍。

東 北

ブナの実の凶作が原因 阜県に多く、餌となる 出没してるようです 人里の柿を狙って 陸地方や岐

のではありません。

れ目や地際

から侵入

いう心構えが必要です。

暫くは人間が食物連鎖 や弊害が見えない現状 のが現状です。 の頂点に立ち全ての野 て肯定も否定も出来な では、再導入論に対し からぬものではありま 具体的な効果

害をどう防ぐか、といっ 動物による農作物の被 を振り返るとき、野生 生動物を調整・管理す る以外の道はないよう に思います。 これまでの獣害対策

乱され危機に瀕して 動によって生態系が撹 林の乱伐など人間の活 ませんでした。 が置かれ生態系の保全 るということ踏まえ、 や生物多様性の重要性 た直接的な防除に重点 には目を向けられてき 外来生物の移入や森

伊賀市が

地域住民に

近でも

目撃

情報

今後は、生態系のバラ ンスをいかに保つかと いうことが獣害対策の 撃情報があったと発表。 境の桜峠付近で熊の目 10月25日伊賀、津両市 かけています。 に放置しないよう呼び 市は生ごみなどを屋外 注意喚起。 桜峠というと高尾付 伊賀市は、 令和元年

らせましょう。

は禁物です。

護柵

る必要があり

ます。

十分な注意が必要です。 眠前が最も危険です。 いでしょう。クマは冬 山行きは避けた方が良 この時期、不用不急の 市とは目と鼻の先です。 近だと思います。名張

携行していれば必ずク なければならないとき いては諸説ありますが、 マに襲われないという ますが、過信は禁物。 ることで安心が得られ どうしても山に行か 熊よけ鈴 熊よけ鈴の効果に 熊よけ鈴を携帯す 例を多く見かけます。 特に、柵の設置の仕方 ことが多いです。柵の 果のある囲いになって けますが、 すよりもくぐり抜ける れた跳躍能力を有して や管理に問題がある事 いない柵が非常に多く、 侵入防止柵をよく見か いますが、 つもりでも、 イノシシやシカは優 柵を飛び越

れます。

破られる前

対策が重要。

チョット一服 物が植物から摂 伊賀市 取した栄養もえるこ 肉食動物 栄養は偏らないの?

人間は肉、野菜の 両方を食べることで 栄養のバランスを保っ ています。しかし、 ライオンやチーター などの肉食動物はシ マウマなど草食動物 草食動物ばかりだと 栄養が偏って体を健 康に保つことができ ないのではと思って

ます。 肉食動物は草食動物 柵は高さを気 だけで必要な栄養素 をとることができま す。なぜなら草食動 物を食べれば草食動

とができるからです。 肉食動物は胃の中に は先ほどまで草食動 物が食べていた草が 消化されずに残って いますし、また骨や 内臓を食べることで もえられます。ライ オンやチーターが獲 ばかり食べています。物をしとめると、最 初に内臓から食べ始 めるのは栄養を考え ているからです。草 食動物を食べること しまいます。しかし、によって間接的に植 物の栄養も摂取して いるのです。

> https://www.iszkakk.ne t/nikusyoku.html から 引く。

もので自分の存在を知 被害は命に関わります。 とが肝心。クマの人的 あるところでは走るの ☆クマ鈴など音の出る ☆クマに出会う恐れの ☆クマに出遭わないこ 態や習性を考慮するこ 理を徹底することで被 改め、 とも必要です。柵は侵 害を軽減 できるという 入防止の一手段で、侵 入を完全に防ぐことが 定と隙間などを無くす にするより、 できるという期待感を ことが重要です。 また、 設置後の維持管 ことを認識す 野生動物の生 地際の

シュなどで農地を囲む 近年、 ワイヤーメッ 囲っている 動物に効 言ってもよいほど破ら 食べ放題。柵は必ずと 柵は 一か所でも破られ 果を失ってしまいます。 設置当初は効果があ ると中に入った動物は れなければ、次第に効 ても適切な管理がなさ

入コストを無駄しない設置の手間や資材購 を徹底して侵入に強い ためには、点検・修理 防護柵に育ててゆくと

まちづくり協議会】 例発表と表彰 ムを編成、2名が狩猟 治会有志5名で捕獲チ― 関南部地区の久我自 ゼロから始める捕 電山市関南部地区

年恒例で開催されてい 令和元年度 ただきました。 このフォーラムは毎

月 13

去 る 11 旦

を捕獲した。

く く り 260 罠 頭

餌事情

春はタケノス

夏はビワ、

10

ヶ月の

力 熱

で3 意と努

年

い環境にする。

獣害につよい三重づく ~みんなで実践できる獣害対策~

の結果

次の三つの総合対策 物被害対策の基本は

たゆまぬ

した。

そ

獲を開始 シシの捕

員全員が参加させてい 張鳥獣害問題連絡会会 獸害に強い

棄地の草刈りや、市道、 はほぼなくなった。ま 治区では農作物の被害 里山の保全管理、 林道沿いの雑木伐採で 不安が軽減された。 野生動物の出没による た、日常生活における を無くすため、 ・動物の隠れ家、棲家 耕作放 環境 など農作物以外の餌が 集落周辺では放任果樹 うように一年を通して、

シチュウー、唐揚げな 議会」の取り組み内容 彰となった どに調理して参加者に ベントなどでカレー、 部員によるジビ エ料理 南部地区まちづくり協 振る舞っている。 の研究やまちおこしイ ・関南部地区では文化 以上が 三重県知事表 亀山市関

開会挨拶 重県副知事

どの満員盛況で鳥獣害

の深刻化が年々拡大し

ているということを肌

で感じた次第です。

フォーラムの概要

車場は全て満車。会場

うなぎ登りで増加して

参加者は毎年

います。今年度は各駐

は立錐の余地のないほ

改善が進んだ。

ることが大事。 チェック。 動物目線でし つかり

るという3つの要素が

重なって、個体数の平

す。100頭の群川率は0%以上となっ

が三重県総合文化セン 催による 三重づくりフォーラム』 三重県主

をとっている。 注意を払って捕獲体制 で、 による捕獲がほとんど ・捕獲している久我自 事故がないように

させないことが大事な

ことです。

山の餌だけを食べて

② 侵入防止対策 ないことが大事。 ずは、集落を餌場にし やしてしまうため、ま 豊富にある。 これを放 集落に誘引して数を増 置していては、動物を ノシシ) 4

ず電気ショックを与え 電柵は適切な高さ 地 確実に鼻で触らせて必 張って、常時通電して、 面から20まっと40まっ)に 込ませないことが大切。 の物理柵は柵の下部を ワイヤーメッシュなど と、全く効果がない。 管理の際にミスがある 侵入防止対策も設置や しっかり固定して潜り せっかく効果がある 毎年の出産が可能にな は4~5歳とはやく、 性成熟が早く初産年齢 しているサルたちは、 一方、農作物に依存 冬の死亡率が下が

県内の優良活動

の事

渡辺

郎氏

害対策 行動に基づく農作物被アノシシの生態と 基調講演

研究 センター 農研機構 西日本農業 鳥獣害技 要です。 以上が基調講演の概

考え方 術グ 被害対策の基本的な上田 弘則氏 ルー な 冬場の餌付け サルを増やし

は

ます

イノ

: を 取

① 最近の野生動物の 冬は青草、ミカンとい ・田畑を正しく柵で囲 ・加害個体を捕獲する。 •集落を動物が出にく 野生動物による農作 秋はカキ、クリ、 イチジ 桑の 中心に生活するように るような特定の場所を 率的な被害対策を進め の減少を目指して、 なります。農作物被害 や餌が簡単に入手でき たりがよく暖かい場所 サルが他の季節より大 餌が乏しくなるため、 ていくためには、冬期 胆に農地や集落に出没 の栄養源につながる餌 します。さらに、日当 森林の中のサル から早春にかけて 集落 へ依存 効 の す。

体2年に1回しか産ま その次の年は産んで、 きません。ある年に産 ないのです。 翌年というように、大 んだら、翌年は休み、 いるサルは毎年出産で

率は、1年にわずか1% することはありません。 サルは、短期間に急増 です。100頭の群れ でも翌年は101頭に しかなりません。 いるサルの個体数増加 山の餌だけを食べて 山の

A群の状況報告は

や葛の実、 居ついていて、木の実 寺湖とひなち湖周辺に ていました A群は、11月は青蓮 古川 山栗を食べ 高志さん

とって平穏で多幸な年

来る、

新年が皆様に

となります様ご祈念申

し上げます。

ります。 当たり前と思っていま を食べさせるのは、 里の近くにいることが 知っているのです。 盗んで畑の作物を食べ 生まれた時から人目を 暮らしを知りません。 ます。 暮らすサルは、奥山の て、その美味しい味を ルを増やす ことになり 冬場にサルに農作物 人里近くで サ 人

また、集落内に多数存 廃果をサルが狙います。 どが実っており、 冬野菜やかんきつ類な 在する収穫しないカキ 時に選別して圃場周辺 前の作物のほか、収穫 やユズの実などもサル に放置した野菜くずや の餌になります。 今の時期、農地では 収穫

物、放任果樹などサル外に生ごみ、廃棄農産郊都市には、農作物以 事な対策です。 うことが最も有効で大 を誘因するものが多く あります。 このような このように農山村や近 のの処分を適切に行

情報がつかめません。 ようです。 ぐれもご注意下さい。 神出鬼没ですのでくれ 編集局より

年間の御礼

ご愛読をお願い申し上 げます。 礼申し上げますと共に、 きましたことを厚くお くの方にご愛読いただ りました。この間、多 今号で162号と相成 今後とも一層のご支援、 新聞も創刊より、 いうことにな頭に増えるとれが、110 ンネ ル南

のある民家の柿にも群つつじが丘南8番町 中していました。 る大きな樹の実があり 知上出の民家の柿に集 の橋付近では実をつけ これを食べたり上比奈

登るのに苦労している げませんでした。 怪我をしている個体が 柿を食べ終わるまで逃 一頭がいます。 群れの中に左前足を って食べていました。 い払いするも、数頭 法面を

参照) れ相応に発生している すが、農作物被害はそ になりました。 時々這入ってくるよう 深野の逵さんの協力で 個体数は減っていま B群は位置 下図

のを見かけました。 B群の出没状況は、

上比奈知 11/12 11/8 (11/14)つつじが丘 ひなち溝

